

南小だより

佐世保市立吉井南小学校
No.14 R. 4. 7. 15 (金)
文責：山口伸一郎

148回目の「創立記念日」を迎えました。

本日7月15日(金)、吉井南小学校は148回目の創立記念日を迎えました。学校の誕生日ですので、子どもたちにもぜひ学校の歴史について関心を持ってほしいと思うところです。

さて、本校の歴史について紐解きますと、創立は、明治7年(1874年)7月15日、「第5大学区第4中学区吉田小学校として吉田庄屋宅に創立」と記されています。その後、昭和26年(1951年)12月に、町制施行により、吉井町立吉井小学校、昭和29年(1954年)には、吉井町立南小学校と改称がなされています。そして、昭和34年(1959年)には児童数が最多となり、1,977名、37学級、職員数42名を数えています。当時は、現在のほぼ10倍の児童数であったこととなります。

時が流れ、平成3年(1991年)10月に現在の校舎が出来上がり、平成17年(2005年)4月1日の佐世保市との市町村合併により、現在の「佐世保市立吉井南小学校」がスタートしています。そして、令和4年(2022年)7月15日現在、194名の児童が元気に学校生活を送っています。

このように、あらためて学校の歴史を振り返ってみますと、それぞれの学校で時代と共に様々な出来事があり、先人の方々から脈々と受け継がれてきた、それぞれのすばらしい伝統や校風を伺い知ることができます。本校では、現在も、「登下校を中心とした児童の見守り」や「学習活動への協力」等、多くの地域の方々为学校教育にご支援いただき、常に子どもたちに温かいまなざしを注いでくださっています。地域の宝として、子どもたちを大切にしてくださるこの雰囲気こそ、吉井地区並びに吉井南小学校で脈々と受け継がれてきた素晴らしい伝統であり、私たちが今後も受け継いでいかなければならないものだと考えます。

本日の創立記念日を機に、ぜひご家庭でも学校の歴史について話題にさせていただきたいと思えます。そして、これまで数多くの先輩方が築いてこられた本校のすばらしい伝統を更に発展させ、引き継いでいくことができるように、子どもたちには、これからも周囲の方々への感謝の気持ちを忘れず、日々の学校生活をがんばってほしいと思えます。



<昭和7年「吉井尋常高等小学校」時代の校舎>



「佐世保法人会」様から、本のご寄付をいただきました。

この度、夏休みを前に、「佐世保法人会」様から市内全小学校・義務教育学校に、今年度の読書感想文・感想画コンクールの課題図書をご寄付いただき、先日本校にも届きました。低学年から高学年まで、全部で41冊というたくさんのお本をご寄付いただき、学校としてもとても喜んでいただいております。読書感想文・感想画コンクールの課題図書については、例年夏休み前のこの時期に学校で購入して子どもたちが借りて読んだり、個人で購入して読書したりしています。そして、夏休みが明けてから、実際に感想文を書いたり感想画を描いたりする活動に取り組んでいます。

今年度は、「佐世保法人会」様からこのように全ての課題図書をいただきましたので、子どもたちもとても手に取りやすくなりました。本校の子どもたちは本が大好きですので、きっと、興味深く読んでくれるものと思います。「佐世保法人会」の皆様、本当にありがとうございました。有意義に活用させていただきます。(写真は、一部です。)

